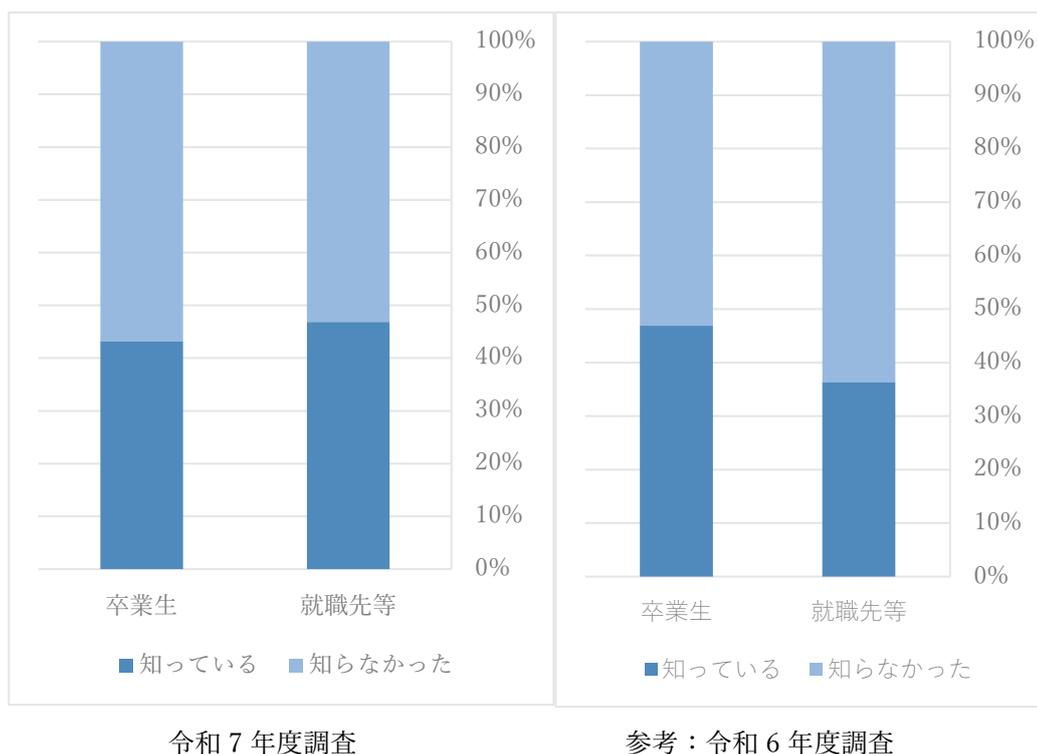


【報告資料】令和7年度卒業生アンケート集計結果

設問1. 本学では各学科のカリキュラム・ポリシーにおいて、キャリア教育に係る方針を設けておりますがこの内容についてご存知でしたでしょうか。

(注) キャリア教育とは、単位取得のある正課内の講義・実習を指しています。

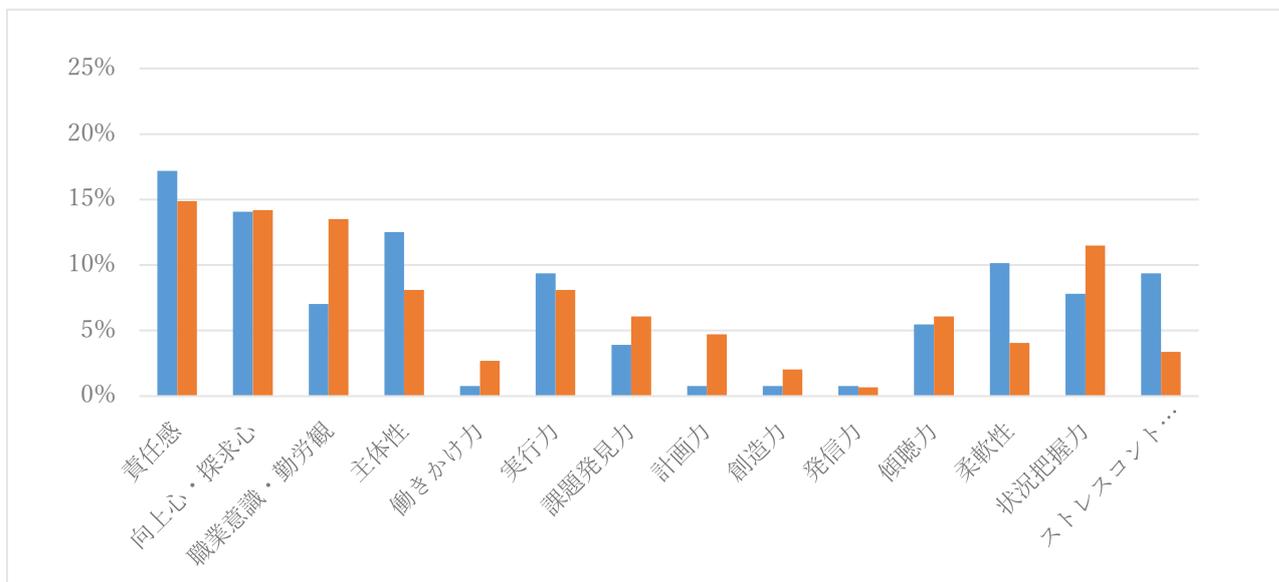


【考察】本学キャリア教育方針の認知度

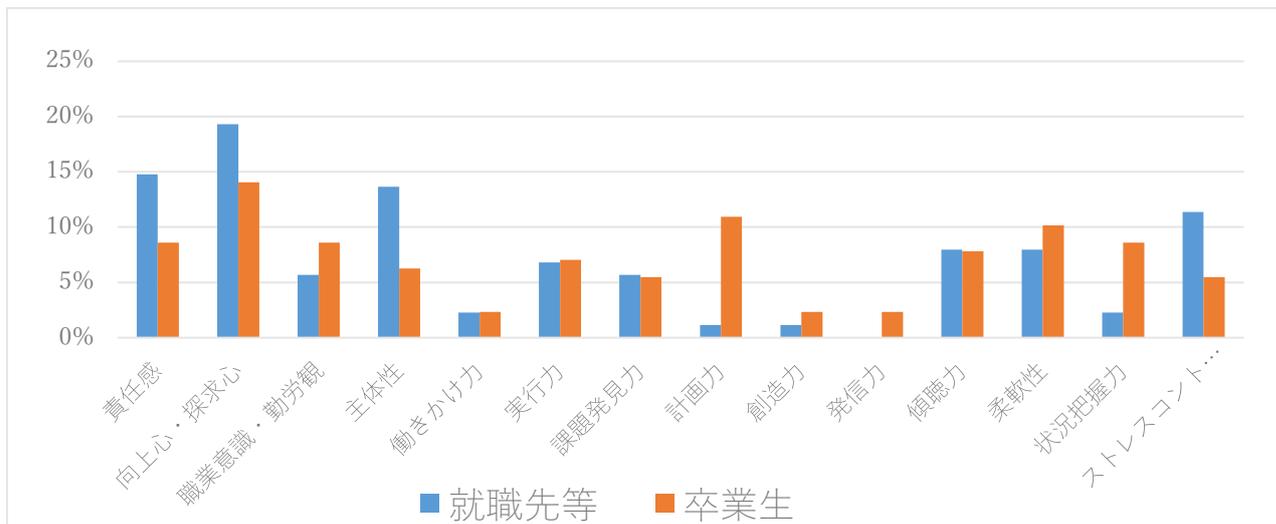
卒業生側は昨年度と大きな動きはなく、卒業生は4割強の学生が本項目を知っていたと回答しております。就職先等側は「知っている」の回答が約1割増え、理解度浸透が増していることがわかります。

設問 2.【就職先等】貴社に入社した本学卒業生に期待する能力として、最も当てはまるものを4つ選択してください。

【卒業生】あなたが学生時代に身に着けた能力として、最も当てはまるものを4つ選択してください。



令和7年度調査



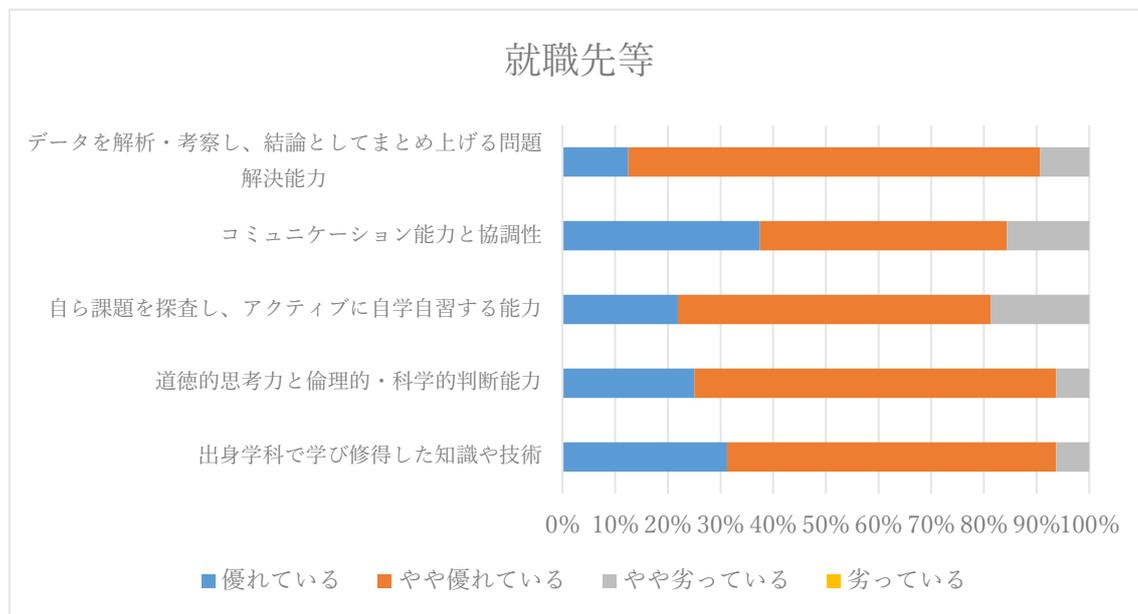
参考：令和6年度調査

【考察】企業が求める能力と卒業生の自覚

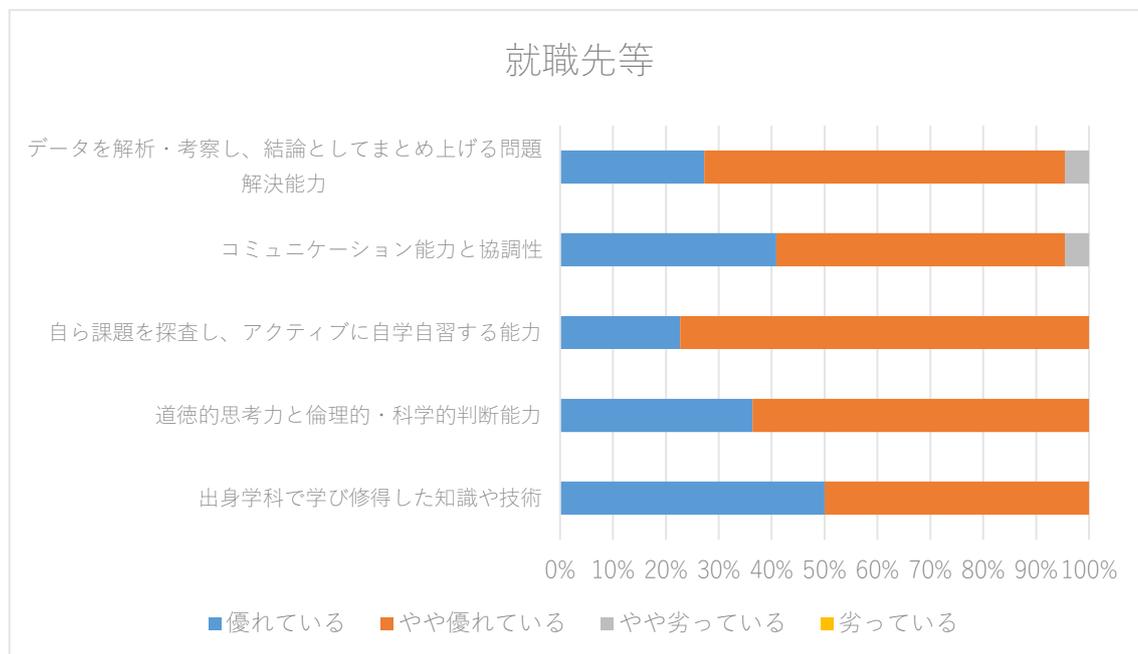
昨年度と同様、就職先等は「主体性」「責任感」「向上心」を重視するとの回答が多く、全体回答の4割近くを占めていました。「職業意識・勤労観」などの意識的側面にも高い期待を示しました。一方、卒業生は「責任感」や「職業意識・勤労観」の回答が昨年度とから上昇し、「柔軟性」が減少しました。

設問 3. 【就職先等】 貴社に入社した本学卒業生の能力として、最も当てはまるものをそれぞれ選択してください。

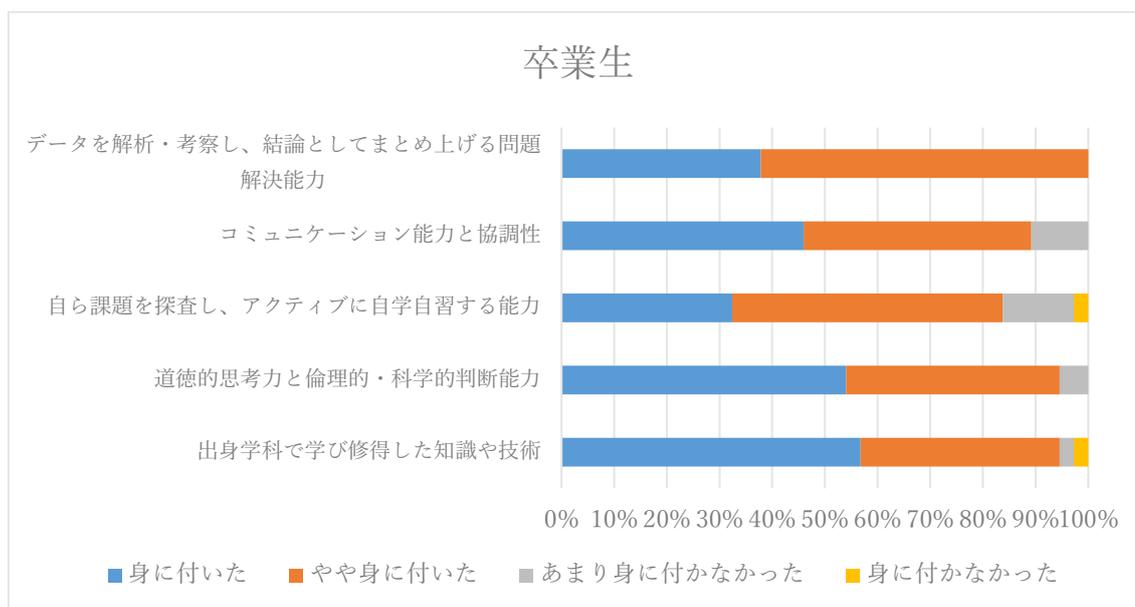
【卒業生】 あなたが学生時代に身に着けた能力として、最も当てはまるものをそれぞれ選択してください。



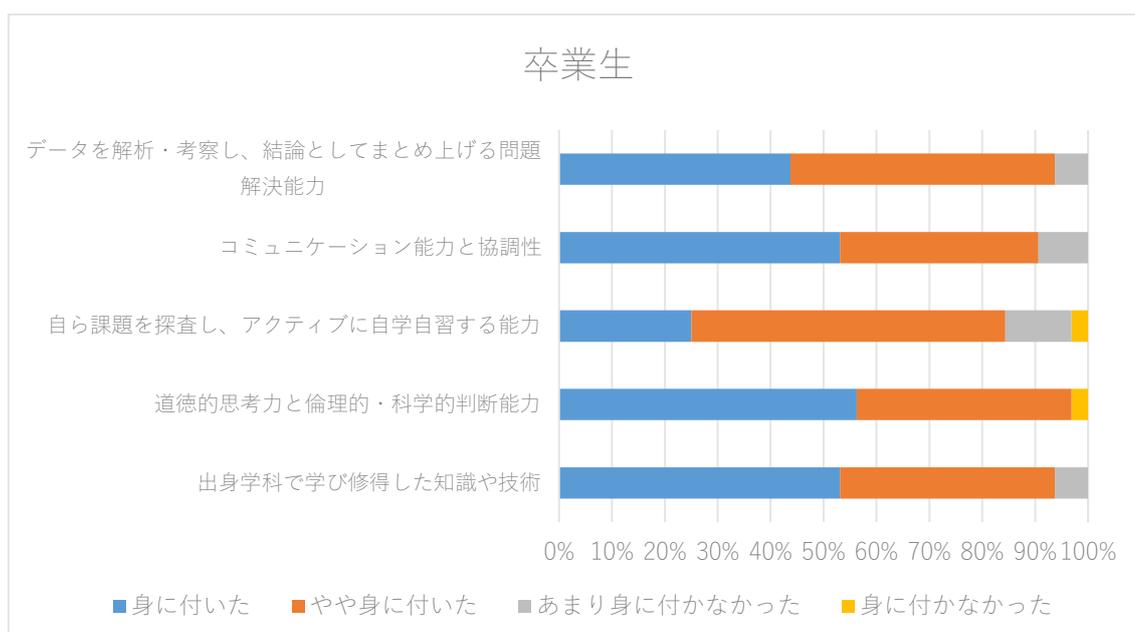
令和 7 年度調査



参考：令和 6 年度調査



令和7年度調査



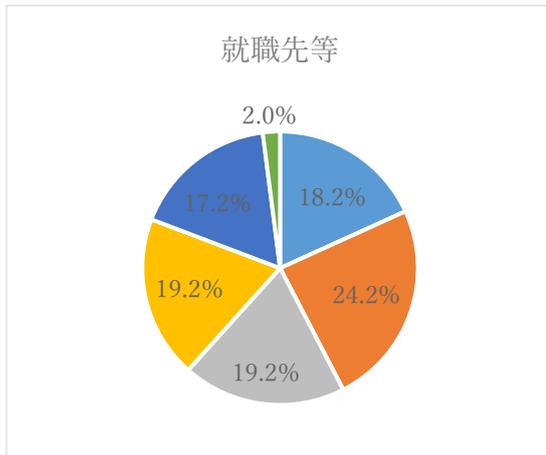
参考：令和6年度調査

【考察】企業が求める能力と卒業生の自覚

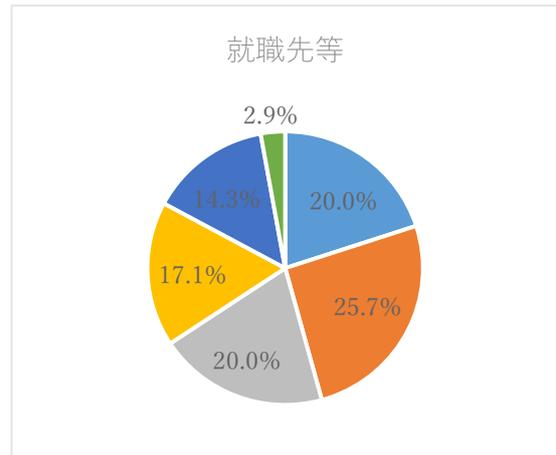
就職先等では昨年度からは「優れている」の回答が全体的に増加の傾向でした。一方、卒業生方における回答が全体的にネガティブな回答がわずかではあるものの増加傾向にありました。

設問 4. 【就職先等】 貴社から見て、本学学生が大学生の間に取り組むべきことはどのようなものですか。

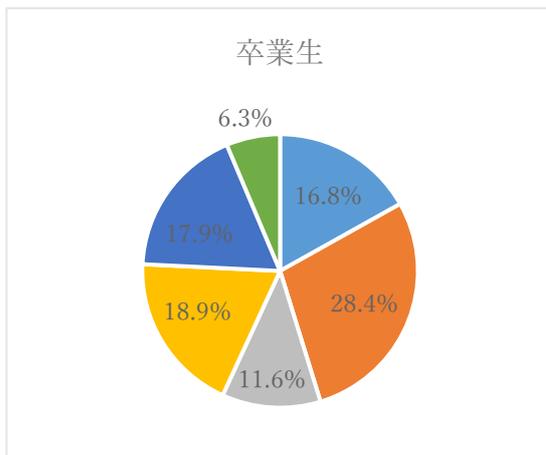
【卒業生】 学生時代を振り返って、取り組んでよかったと思うのはどのようなものですか。



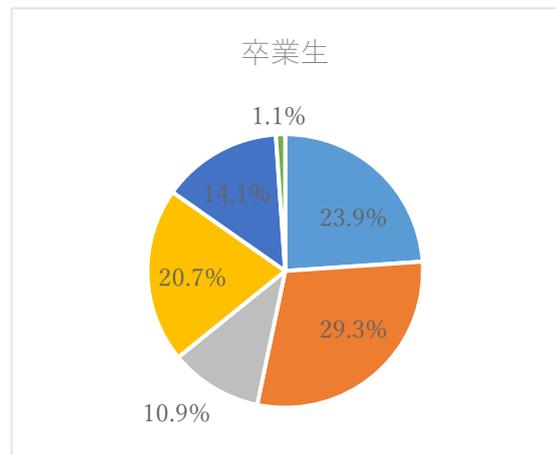
令和7年度調査



参考：令和6年度調査



令和7年度調査



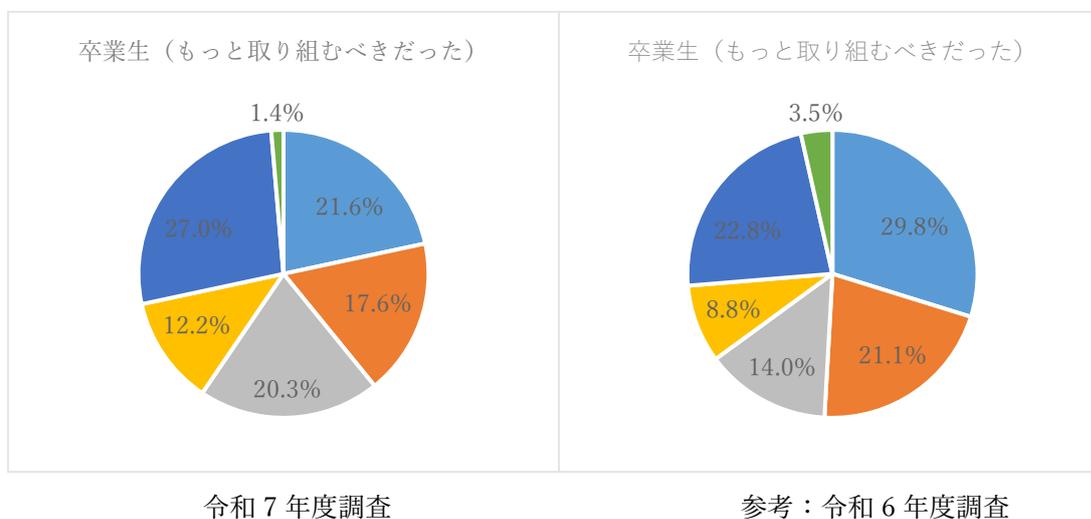
参考：令和6年度調査

■ 学業(座学等) ■ 学業(実習) ■ 部活動・サークル活動 ■ アルバイト ■ インターンシップ、学外実習 ■ その他

【考察】 学生時代の取り組みについて

こちらの設問では昨年度と比較し、就職先等では大きな変化は見られませんでした。「学業(実習)」「インターンシップ・学外実習」での取り組みが高く評価されています。卒業生の回答では「学業(座学等)」や「学業(実習)」に打ち込んだとの回答が少々減少し「その他」の回答が増えました。当該項目の内訳は「研究室活動(3件)、課外活動(アイデアソン、ビジネスコンペ、他大学での研究活動など)、ボランティア活動、教職課程の履修」でした。

設問 5.【卒業生のみ】 学生時代を振り返って、もっと取り組むべきだったことはどのようなものですか。



■ 学業(座学等) ■ 学業(実習) ■ 部活動・サークル活動 ■ アルバイト ■ インターンシップ、学外実習 ■ その他

【考察】 卒業生がもっと取り組むべきだったこと

もっと取り組むべきだったと思う要素を卒業生に聴取したところ、「学業（座学）」「学業（実習）」の回答が昨年度よりも減少し、「部活動・サークル活動」「インターンシップ・学外実習」の回答が増加しました。全問と同様に各選択肢の回答が平均値化しているような変化を見せています。

設問 6.その他、本学のキャリア教育・キャリア支援プログラムについてご意見があれば、下記の欄に自由にお書きください。

【就職先等】

- ・コミュニケーション能力の向上につながる取り組みを実施してほしいです。
- ・貴学を 2023 年度卒業された方で新卒入社された方が確認できなかったのですが、過去入社された方のイメージで回答いたしました。
- ・協調性や対話力、チームディスカッション能力を向上させるプログラムや経験が必要だと感じます
- ・学生の働き方への意識が多様化している中で、大学としてどのような教育の仕方が良いのか。グローバルなキャリア支援も重要になってくると思う。
- ・それぞれに個性はありますが、獣医師も看護師も大変熱心で真摯に仕事に向き合うことができる学生さんが多い印象を受けています。とくにありません。
- ・カリキュラム・ポリシーを実現するために具体的にどのような教育と評価をしていますか？

【卒業生】

- ・面接練習、ES の添削がありがたかった。
- ・食品加工工場に勤めた卒業生の 5 年以内の離職率が気になる。工場は夜勤や不規則勤務のイメージがあるので、新卒就活のときに避けてしまいました。
- ・アルバイトやインターンなどに参加せず、いろんな仕事を経験してみたかったと思っているので、そういった体験をハードルを低くして体験したい

【全体の考察】

昨年度の実施から比較し、大学教育の成果、特に専門性教育の評価は高い状況のままです。卒業生からの回答では実習や座学において成長を感じる一方、設問 4 の「インターンシップ・学外実習」の回答から、自ら行動を起こし、経験をすべきだった点が継続して見えました。就職活動に係るサービスが多様化する一方で、自発的な行動をもって社会を知り学ぶことの価値や必要性もあることを、継続して学生に周知する必要があります。

以上